



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,157	12.3	294	48.5	381	34.4	229	38.8
2020年3月期第2四半期	13,869	5.7	571	12.8	582	10.4	375	0.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 265百万円 (24.9%) 2020年3月期第2四半期 353百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	18.54	
2020年3月期第2四半期	30.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	14,867	5,347	36.0	431.93
2020年3月期	14,978	5,156	34.4	416.47

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,347百万円 2020年3月期 5,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		6.00		6.00	12.00
2021年3月期		6.00			
2021年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,870	10.3	260	53.5	320	51.2	210	40.6	16.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	13,495,248 株	2020年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,115,225 株	2020年3月期	1,115,225 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	12,380,023 株	2020年3月期2Q	12,380,023 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月の外出の自粛やイベントの開催制限、施設の使用制限の段階的緩和の方針を受け、持ち直しが予測されます。しかしながら、世界的には新規感染者数はいまだに増加しており、海外からの入国制限の継続や、国内でも対面営業等従来の経済活動に対して不安がぬぐえないことから、民間投資や個人消費の回復テンポは緩やかなものに留まるものと予想されます。

このような状況のなか、政府や各知事から示される新型コロナウイルス感染対策を遵守する中で、引き続き従業員および取引先の感染対策を徹底し、飲料製造・販売会社としての社会的責任を果たしてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,157百万円（前年同四半期比12.3%減）、営業利益294百万円（同48.5%減）、経常利益381百万円（同34.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益229百万円（同38.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、4、5月の売上大幅減少から持ち直しの傾向は継続しています。アウトドア・ロケーションは大幅に回復してきたものの、テレワークの定着や集客が遅れる観光地やレジャー施設などのインドア・ロケーションを中心に厳しい環境は続いています。7－9月の売上全体では前年の水準を大きく下回りました。この状況に対して、一部自販機でマスクを販売（秋までの期間限定）するなど、顧客ニーズに迅速に対応するとともに、徹底したコストの見直しを図っております。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は5,925百万円（前年同四半期比26.2%減）、セグメント損失は42百万円（前年同四半期は178百万円のセグメント利益）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造事業におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、スポーツ、アウトドアシーンで需要の高いソフトパウチ飲料などの製造数量が大きく減少いたしました。一方、RTD（低アルコール飲料）は家飲みを中心に引き続き強い需要があり、堅調に推移しました。また、自社オリジナルRTD商品の「ASEED ASTER」（アシード アスター）は、5月のYouTubeを活用したプロモーションによる効果が続き、「完熟沖縄シークワサー」を中心に好評を得ております。ASTERの特徴であるストレート果汁の雑味のない美味しさをPRし、自社ブランドの拡大に取り組んでまいります。

この結果、飲料製造事業の売上高は6,116百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は503百万円（同9.4%減）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

主要販売先である遊技場業界は新型コロナウイルスの影響を受け、厳しい事業環境が続きました。本格コーヒーを景品として提供する「アオンズ・カード」の売上高、セグメント利益は大きく減少いたしました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は32百万円（前年同四半期比50.0%減）、セグメント利益は1百万円（同70.4%減）となりました。

④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は83百万円（前年同四半期比28.1%増）、セグメント利益は84百万円（同4.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、5,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加323百万円、商品及び製品の減少125百万円及びその他の減少78百万円等によるものです。また、固定資産は9,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円減少いたしました。これは建物及び構築物（純額）の減少40百万円、機械装置及び運搬具（純額）の減少62百万円、リース資産（純額）の減少84百万円、投資有価証券の増加68百万円、長期前払費用の減少84百万円、その他の減少142百万円及び貸倒引当金の減少142百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円増加いたしました。これは買掛金の増加55百万円、短期借入金の減少110百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加40百万円、未払金の減少101百万円、未払法人税等の増加58百万円、未払消費税等の増加120百万円及びその他の増加111百万円等によるものです。また、固定負債は2,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少355百万円及びリース債務の減少91百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加229百万円及び剰余金の配当による減少74百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度末は34.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年7月31日の「業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	792,989	1,116,364
受取手形及び売掛金	1,791,947	1,769,431
商品及び製品	1,434,540	1,309,066
原材料及び貯蔵品	208,796	178,223
前払費用	336,932	374,700
その他	609,285	530,785
貸倒引当金	△7,608	△7,814
流動資産合計	5,166,883	5,270,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,654,872	1,614,453
機械装置及び運搬具(純額)	1,343,737	1,280,806
工具、器具及び備品(純額)	32,978	36,115
土地	3,892,016	3,892,000
リース資産(純額)	983,263	898,944
建設仮勘定	56,693	70,036
有形固定資産合計	7,963,562	7,792,357
無形固定資産		
のれん	31,769	29,119
リース資産	50,846	37,290
その他	89,030	82,035
無形固定資産合計	171,645	148,446
投資その他の資産		
投資有価証券	663,411	731,740
長期貸付金	6,905	3,605
長期前払費用	500,706	415,715
繰延税金資産	153,405	153,963
その他	546,753	403,963
貸倒引当金	△194,999	△52,928
投資その他の資産合計	1,676,181	1,656,060
固定資産合計	9,811,390	9,596,864
資産合計	14,978,273	14,867,621

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,409,268	2,464,748
短期借入金	1,970,000	1,860,000
1年内返済予定の長期借入金	615,716	655,716
リース債務	369,240	348,085
未払金	678,423	576,547
未払法人税等	96,423	154,425
未払消費税等	56,643	176,712
賞与引当金	121,893	115,541
その他	625,859	736,986
流動負債合計	6,943,468	7,088,764
固定負債		
長期借入金	1,759,985	1,404,627
リース債務	723,025	631,058
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	101,975	101,975
退職給付に係る負債	131,283	127,581
資産除去債務	4,100	4,100
その他	123,963	127,552
固定負債合計	2,878,797	2,431,359
負債合計	9,822,266	9,520,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	4,430,622	4,585,879
自己株式	△588,250	△588,250
株主資本合計	5,653,622	5,808,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,150	45,295
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	△15,711	△16,621
その他の包括利益累計額合計	△497,773	△461,539
新株予約権	158	157
純資産合計	5,156,007	5,347,498
負債純資産合計	14,978,273	14,867,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,869,265	12,157,715
売上原価	8,878,077	8,411,975
売上総利益	4,991,187	3,745,740
販売費及び一般管理費	4,419,568	3,451,557
営業利益	571,618	294,182
営業外収益		
受取利息	1,173	1,120
受取配当金	3,479	5,312
持分法による投資利益	20,039	17,630
投資事業組合運用益	3,837	268
不動産賃貸料	5,498	4,674
受取賃貸料	4,811	3,302
助成金収入	—	87,746
その他	17,410	12,908
営業外収益合計	56,249	132,962
営業外費用		
支払利息	26,774	24,168
その他	18,603	21,057
営業外費用合計	45,378	45,226
経常利益	582,489	381,919
特別利益		
固定資産売却益	1,184	111
特別利益合計	1,184	111
特別損失		
固定資産除却損	13,867	189
減損損失	26	6,555
投資有価証券評価損	—	80
特別損失合計	13,893	6,825
税金等調整前四半期純利益	569,780	375,206
法人税、住民税及び事業税	205,645	152,430
法人税等調整額	△11,168	△6,761
法人税等合計	194,477	145,669
四半期純利益	375,303	229,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,303	229,537

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	375,303	229,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,302	37,144
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,221	△909
その他の包括利益合計	△21,524	36,234
四半期包括利益	353,778	265,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,778	265,771

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,032,963	5,706,504	64,824	64,971	13,869,265	—	13,869,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,587	148,421	594	77,153	247,757	△247,757	—
計	8,054,551	5,854,926	65,418	142,125	14,117,022	△247,757	13,869,265
セグメント利益	178,033	555,685	5,197	88,754	827,670	△256,052	571,618

(注) 1. セグメント利益の調整額△256,052千円には、セグメント間取引消去3,503千円、のれんの償却額1,005千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△260,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(不動産運用事業における資産の著しい増加)

当第2四半期連結累計期間において、栃木県下野市に賃貸倉庫を購入したことにより、前連結会計年度末に比べ、「不動産運用事業」のセグメント資産が884,980千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産運用事業」において、遊休土地について継続的な時価の下落により帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の金額は26千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,925,654	6,116,366	32,441	83,254	12,157,715	—	12,157,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,948	93,194	188	82,808	188,140	△188,140	—
計	5,937,602	6,209,561	32,629	166,062	12,345,855	△188,140	12,157,715
セグメント利益 又は損失(△)	△42,151	503,277	1,537	84,399	547,062	△252,879	294,182

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△252,879千円には、セグメント間取引消去3,397千円、のれんの償却額1,005千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△257,282千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産運用事業」において、遊休土地について継続的な時価の下落により帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。また、「自販機運営リテイル事業」において、将来使用見込みの無くなった無形固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。当該無形固定資産の回収可能価額については、正味売却価額により測定しておりますが、売却が見込まれないため零として算定しております。なお当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の金額は6,555千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。